



被災地支援への強い思い

松浦こいから隊

松浦こいから隊（山口哲広代表）が9月25日、令和元年8月豪雨災害被害に対する義援金を市に贈呈しました。

同隊は、これまでも東日本大震災、九州北部豪雨などへの支援を行っています。

今回開催した「第11回松浦 YOSAKOI 祭り～en～」には、被害の大きかった佐賀県内からも6チームが参加。義援金とともに、来場者や参加者による力強いメッセージが多数刻まれたメッセージフラッグも手渡しされました。

義援金は、市を通じて日本赤十字社佐賀県支部へ災害義援金として届けられ、メッセージフラッグは市から避難所などに送られます。



自分の思いを言葉にする

第23回鷹島町少年の主張大会

第23回鷹島町少年の主張大会が9月24日、鷹島開発総合センターで開催され、鷹島小学校および中学校の児童生徒ら6人が出場し、松永彩花さん（鷹島小6年）と小野田歩乃果さん（鷹島中2年）が各部門の最優秀賞に輝きました。（写真左：松永さん、写真右：小野田さん）

松永さんは、「将来の夢」と題し、看護師という職業への憧れが、入院中に間近で働く姿を見て将来の夢が変わったことを語り、小野田さんは、「思い込み」「決めつけ」と題し、自分の思いと他人の思いが違うことを知ることで、視野が広がったことを発表しました。

それぞれが素直な気持ちを自分の言葉で語り、会場は大きな拍手に包まれました。



元気いっぱいの土俵入り

上志佐笛吹地区奉納相撲

上志佐笛吹地区の奉納相撲が9月25日、笛吹地区の天神様で開催されました。

奉納相撲は山の斜面の一部崩落により一時実施が見送られていましたが、地区住民が協力して土俵や歩道などを整備され、昨年復活しました。

この日は、上志佐保育所の園児や保護者、地区住民など約30人が参加。子どもたちは、元気よく土俵入りして勢いよく対戦相手にぶつかっていききました。

地区住民らは、子どもたちの熱戦に大きな声援を送っていました。



木のぬくもりで昔の遊びを体験

こらぼらQでん「エコフェスタ in まつうら」

こらぼらQでん「エコフェスタ in まつうら」が9月28日、文化会館で開催されました。

このイベントは、九州電力株式会社平戸営業所が市と共同企画したもので、楽しく環境について学ぶ体験型イベントとして昨年に引き続き開催されました。

この日は、親子連れなど約250人が参加。竹笛づくり、ヒノキの間伐材を削ってつくる「マイはし」づくり、手回し発電機や自転車発電機体験、ごみの分別やリサイクルについてクイズ形式で学ぶブースなど、電気やごみについて親子で楽しく学べる一日になりました。

また、お楽しみ抽選会も実施され、会場は大いに盛り上がりました。



ビル・モロイさんに届け！

ビル・モロイ杯 English スピーチ・コンテスト

「第8回松浦・マッカイ ビル・モロイ杯 English スピーチ・コンテスト」が9月29日、生涯学習センター（きらきら21）で開催され、市内の中高生17人が出場しました。

同コンテストは、マッカイ市との姉妹都市交流の架け橋として尽力された故ビル・モロイ氏の功績をたたえ、中高生の英語力の向上を目的に開催しています。今年は姉妹都市提携30周年で、ビルさんの娘、パム・モロイさんが特別審査員を務めました。

各部門の最優秀者は次のとおりです（敬称略）。

【暗唱部門】 渡邊 璃乃（志佐中学校3年）

【オリジナル・スピーチ部門】

椎山 摩耶（早稲田佐賀高校3年・鷹島町）



みんなでまちをきれいに

シルバー人材センター清掃・除草作業

公益社団法人松浦市シルバー人材センター（村田政司理事長）が、10月の全国シルバー人材センター事業協会の普及啓発促進月間に合わせて清掃・除草作業を行いました。

同センターでは、社会への貢献と、センターの活動をPRするため、毎年市内8地区で公共施設などの清掃活動に取り組んでいます。

鷹島地区では10月1日、会員約20人が対馬小太郎の墓周辺の清掃や除草作業を行いました。会員の皆さんの見事な連携と手際の良さで、見違えるほど美しくなりました。



祝50周年エミネントスラックス

地域と共に

本市の誘致企業第一号の株式会社エミネントスラックス（前田周二社長）が10月5日、同社松浦工場で創業50周年記念式典を開催しました。

スラックス製造の同社は、ジャケット製造のアリエス株式会社（平戸市）、シャツ製造の山喜株式会社長崎工場（佐々町）と連携し、新しい紳士服ブランドWESTORY（ウエストリー）を立ち上げる等、地域に根ざした企業活動を行われています。

式典では、松高の制服リニューアルの際に生徒中心の実行委員会が主体となって完成させたチェック柄「松浦タータン」の普及や新たな地域製品の開発などを掲げた「松浦タータン宣言」が行われました。

宣言の中で前田社長は、「松浦タータンを活用し地域の活性化に貢献できるように今後も地域に根ざした企業として取り組んでいきたい」と思いを述べました。



10月1日は珈琲の日

第1回珈琲感謝祭

第1回^{コーヒー}珈琲感謝祭が10月1日、今福神社で開催され、市内外から約40人が訪れました。

感謝祭は、珈琲愛好家でもある早田伸次宮司の呼びかけにより10月1日の「珈琲の日」にちなみ開催されたもので、松浦にゆかりのある珈琲店2店舗が、御神前に珈琲豆を奉納し、感謝の気持ちを伝えました。

早田宮司は、祝詞の中で、今や身近な飲み物となった珈琲が日本に根付いた経緯などを説明され、神事終了後には珈琲が参加者らに無料でふるまわれました。

境内には試飲や豆の販売などの出店が並び、挽きたての珈琲の豊かな香りと味をみんなで楽しみました。

